



平成 23 年 7 月 1 日

社団法人 日本建築学会
関東支部長 時松 孝次 様

箱根町教育委員会
教育長 小林 恭一



旧三井鉱山箱根山荘“環山”の保存に関する依頼について（回答）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、篤く御礼申し上げます。

さて、2010年10月25日付けでご提出いただきました要望書につきまして、下記の通り回答申し上げますので、ご理解を賜りたくよろしくお願いいたします。

敬具

1. 建物所有者の変更について

その後の経緯について、建物の所有者であった日本コークス株式会社他の4社に問い合わせたところ、貴会から提出された保存要望書の“見解”をふまえて建物の対応を再検討した結果、保養所は閉鎖・売却することとし、その売却先として茶室を保存活用される方を対象に新しい所有者を探した結果、在京の企業経営者に個人でご購入いただくことに落ち着いたとのご報告をいただきました。新たな所有者の方は茶の湯に理解があり、同様の田舎家風の茶室を他にも複数所有しておられる方で、建物の歴史的価値についても十分に理解されている方だそうです。

2. 箱根町の今後の対応について

箱根町では、当該建物の新たな所有者に対し、当該建物が箱根町にとっても文化財的価値の高い貴重な建物であることをご理解いただき、今後ともさまざまな形でご協力をいただきたいことから、去る6月17日に当町の文化財保護委員、教育委員会文化財保護班担当者、郷土資料館長の3名でご挨拶に伺い、町としての希望をお伝えして参りました。新たな所有者の方からは、文化財登録に対しても前向きにご検討いただける旨のお返事をいただき、今後とも建物の保存活用について、町としてご協力させていただくことでご了解をいただきました。

担当は、生涯学習課文化財保護班